

(4) その他

平成24年度総会を開催

5月20日(日)八王子市加住市民センターで「NPO法人 滝山城跡群・自然と歴史を守る会」の平成24年度総会を行いました。

平成23年度事業報告と収支決算、平成24年度事業計画と収支予算、平成24年度役員選出の審議・採決および滝山城散策ツアーのガイドや第1回城郭学習会などについての報告がありました。

滝山城さくらまつり

4月8日(土) 滝山さくらまつりの会場(中の丸)において『よみがえる滝山城』、『滝山城戦国絵図』を販売しました。

「滝山城跡群・自然と歴史を守る会」と書いた黄色いノボリと、甲冑・具足を身に付けた会員の姿は会場内でもとても目立っていて、本の売れ行きも好調でした。



「アサココ」に記事が掲載されました

多摩地域のタウン誌「アサココ」5月号に、『甲冑姿で城跡をガイド』の記事が掲載されました。



発足から6年、会員は市内外から50人を超え、知名度も高まり活発になっていきます。今後も、遠方からの来訪者にも喜んでもらえるような案内や整備に努めたいと思っています。☎090・4390・783 1西山さん

読者から

甲冑姿で城跡をガイド

八王子市「滝山城跡群・自然と歴史を守る会」理事長 西山富保

NPO法人「滝山城跡群・自然と歴史を守る会」は、都立滝山公園(八王子市)の国指定史跡「滝山城跡」の活用を通じて地域の文化を向上する活動をしています。

滝山城は、小田原・北条氏の第4代氏政の弟の氏照が城主でした。永禄12年(1569年)武田信玄の猛攻にも耐えて、当時の遺構が大変良く残っている中世城郭です。

新しい遺構説明板が城跡内15カ所に設置されたのを記念した散策ツアーを3月25日に開催。当日、会員5人が紙製の甲冑(かっちゅう)と兜(かぶと)を身に付けてガイドにあたりました。50人の募集に対し84人が参加、大盛況でした。

会では毎月第3日曜日、城跡の遺構を見やすくするための下草刈りや樹木の間伐などを行っています。3月には散策ツアーを、12月には講演会を開催。各地の団体などからのガイドの依頼も随時受けています。(ガイドは無料)。

(アサココに掲載)

新入会員紹介 新たに2名の方が入会されました。 ①氏名 ②住所 ③年齢 ④本人からひとこと



①橋本 勝美さん ②八王子市千人町
③73才
④ご指導の程、よろしくお願いいたします。



①藤原 一幸さん ②昭島市宮沢町 ③62才
④関東の戦国時代はほとんど知りませんでしたが、滝山城を知り、がぜん興味がわいてきました。ご指導の程、よろしくお願いいたします。

【訂正】 滝山だより第3号の記事に誤りがありました。下記の通り訂正をお願いします。

3ページ 遺構説明板 ⑦ (誤) 氏邦の鉢型城 → (正) 氏邦の鉢形城

滝山城跡群・自然と歴史を守る会 会報 「滝山だより」 第4号

発行日 平成24年8月1日

発行者 NPO法人 滝山城跡群・自然と歴史を守る会 理事長 西山富保

編集 高橋 努

滝山城跡群・自然と歴史を守る会 ホームページ <http://takiyamajo.com/index.php>



滝山だより

よみがえる滝山城

NPO法人 滝山城跡群・自然と歴史を守る会
会報 第4号 平成24年8月1日発行

平成24年4月～平成24年6月活動

(1) 定例活動(下草刈り、景観伐採、景観維持作業)

今年度は、年間12回の定例活動のうち、8回を景観維持作業として年間活動計画に組み入れています。

日付	時間	実施場所
4/15(日)	9:30～15:00	カソノ屋敷東空堀周辺(下草刈り・景観伐採)
5/20(日)	9:30～15:00	大池堤周辺(下草刈り・景観伐採)
6/17(日)	9:30～15:00	本丸西・出丸周辺(景観維持)



カソノ屋敷東空堀の作業



大池の堤上の下草刈り作業



大池の堤上の作業後の景観



作業の合間の城跡遺構の確認



本丸西腰曲輪の作業前の景観



本丸西腰曲輪の作業後の景観

(2) ツアーガイド

道の駅八王子滝山・滝山城跡文化協会主催の滝山城跡散策ツアーのガイドの他、3件のガイドを実施しました。

日付	名称	主催または依頼者	参加者
4/10(火)	滝山城跡見学のガイド	大阪中世城郭同好会	32名
4/28(土)	滝山城跡見学のガイド	武蔵野文化協会	15名
5/11(金)	滝山城跡見学のガイド	都職労退職者協議会	23名
5/26(日)	滝山城跡散策ツアーのガイド	道の駅八王子滝山、滝山城跡文化協会	30名



大阪中世城郭同好会(4/10)



武蔵野文化協会(4/28)



滝山城跡散策ツアー(5/26)

6月3日(日)に実施した第1回城郭学習会は、21名の会員の参加があり、マイクロバスで金尾要害山城跡(埼玉県花園町)、天神山城跡(埼玉県長瀬町)、鉢形城跡(埼玉県寄居町)の3城跡を訪問しました。中世城郭研究家で会員でもある中田正光さんに案内と解説をしていただきながら、それぞれの城跡の遺構を見学しました。天神山城跡では池跡の存在や出郭周囲の築城術など、興味深い発見がありました。

天神山城

主郭北の二重豎掘を觀察

二の曲輪には観光用の展望台が残る

固い防衛の出郭は居館跡か

腰曲輪と出郭を隔てる堀切

池跡の堤を調査する

堤に残る石積み

今回、天神山城跡を調査した際に、東側山腹に設けられた出郭周囲に興味深い遺構を確認しました。

①池跡の存在 石積を用いた築堤が確認できました。この下流部の谷にも数か所の池が構築されていた可能性があります。

②出郭周囲の築城術 出郭の周囲に巡らせた空堀と土橋は巧妙に組み合わせられ、また豎掘を配することで、山麓からの攻撃に対する防御は非常に堅固です。山頂部とは全く異なる築城技術は、北条氏が関与した可能性が高そうです。

– 2 –

大手口の馬出跡に建つ諏訪神社
 復元石積土塁と復元四脚門
 石垣や池が復元された伝秩父曲輪
 巨大な空堀には畝も見られる

馬出と二の曲輪間の土橋
 二の曲輪から伝秩父曲輪を見る
 伝逸見曲輪から弁天島へ向かう
 池跡の中に浮かぶ弁天島

6月3日、滝山城跡群・自然と歴史を守る会は城郭学習の一環として鉢形城と天神山城の見学を行った。20数名の参加者であった。鉢形城は戦国時代の城郭としては比較的綺麗に残された城のひとつと云われている。深沢川が荒川に合流する地点に立地しているため、地形上、東南北側は堅固であるが、西側は開けており防衛上の弱点となっている。そのため城主の居館や上級武士の館があった本曲輪から西側に何重にも深い堀切を行い、二の曲輪・三の曲輪などの曲輪をいくつも造成している。各曲輪は、堀と土塁で囲まれるほか、主要な出入口には方形の馬出を備えている。特に二の曲輪と三の曲輪を隔てる巨大な空堀と土塁は目を見張るものがあつた。最大幅は約24m、深さ約12mである。また、城の外側の小河川を上手く取り込み、水堀としているのも興味深かつた。そして、私が特に驚いたのは石積土塁である。石積土塁は、全長約100m、高さ約4m、上幅約6m、下幅約12mの規模をもち、内側には川原石を3から4段の階段状に積み上げていることが確認でき、雁木と呼ばれる階段も作られていた。築城当時、すでに専門の技術者がいたことがうかがわれる。滝山城は鉢形城より45年後に築城である。発掘すれば多くの石垣が発見されるに違いない。これからの発掘作業に期待するとともに、そのことに立ち会えることに感謝したい。

戸松繁雄さんより寄稿いただきました